

令和 6 年 10 月 23 日
国土交通省関東地方整備局
利根川水系砂防事務所

浅間山の噴火に備え降灰量把握実験を実施します

～噴火時に立ち入り禁止になる区域における無人計測計画の策定～

噴火により火山灰が堆積した山腹斜面では頻繁に土石流等が発生する傾向があり、周辺地域に甚大な被害を及ぼす場合があるため、火山灰分布の迅速な把握が求められます。

このため、比較的多量の火山灰が堆積すると想定される火口周辺において、適切に堆積状況を把握する必要がありますが、立ち入りが禁止となる区域において降灰状況を把握する手法については確立していません。

本実験では、噴火活動が継続し立ち入りが禁止される区域が設定された場合を想定し、無人航空機（UAV）や降灰厚計測デバイス（ロボット）※を用いた火山灰の堆積状況を計測する技術について、現地での実証実験を行い無人計測計画の妥当性を検証します。

※降灰厚計測デバイス(ロボット)の内閣府総合科学技術・イノベーション会議の戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期「スマートインフラマネジメントシステムの構築」（研究推進法人:土木研究所、<https://www.pwri.go.jp/jpn/research/sip/index.html>）において開発中のものです。

実施日 令和 6 年 10 月 30 日（水） 13 時 00 分～14 時 00 分予定

場所 東京大学地震研究所浅間火山観測所
（住所 長野県北佐久郡軽井沢町長倉字長倉山 2125-1）

実験内容 噴火警戒レベル 3 を想定した立入制限区域外(東大地震研)から区域内への降灰厚計測デバイス（ロボット）のデモフライト等

実験実施者 利根川水系砂防事務所

報道関係者の皆様へ

取材を希望の方は、事前申し込みにより取材可能です。

申し込みは、10月28日(月)12時までに別紙 取材登録書を送付してください。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 長野県庁会見場・長野市政記者クラブ・長野市政記者会 佐久記者クラブ 刀水クラブ・テレビ記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 利根川水系砂防事務所

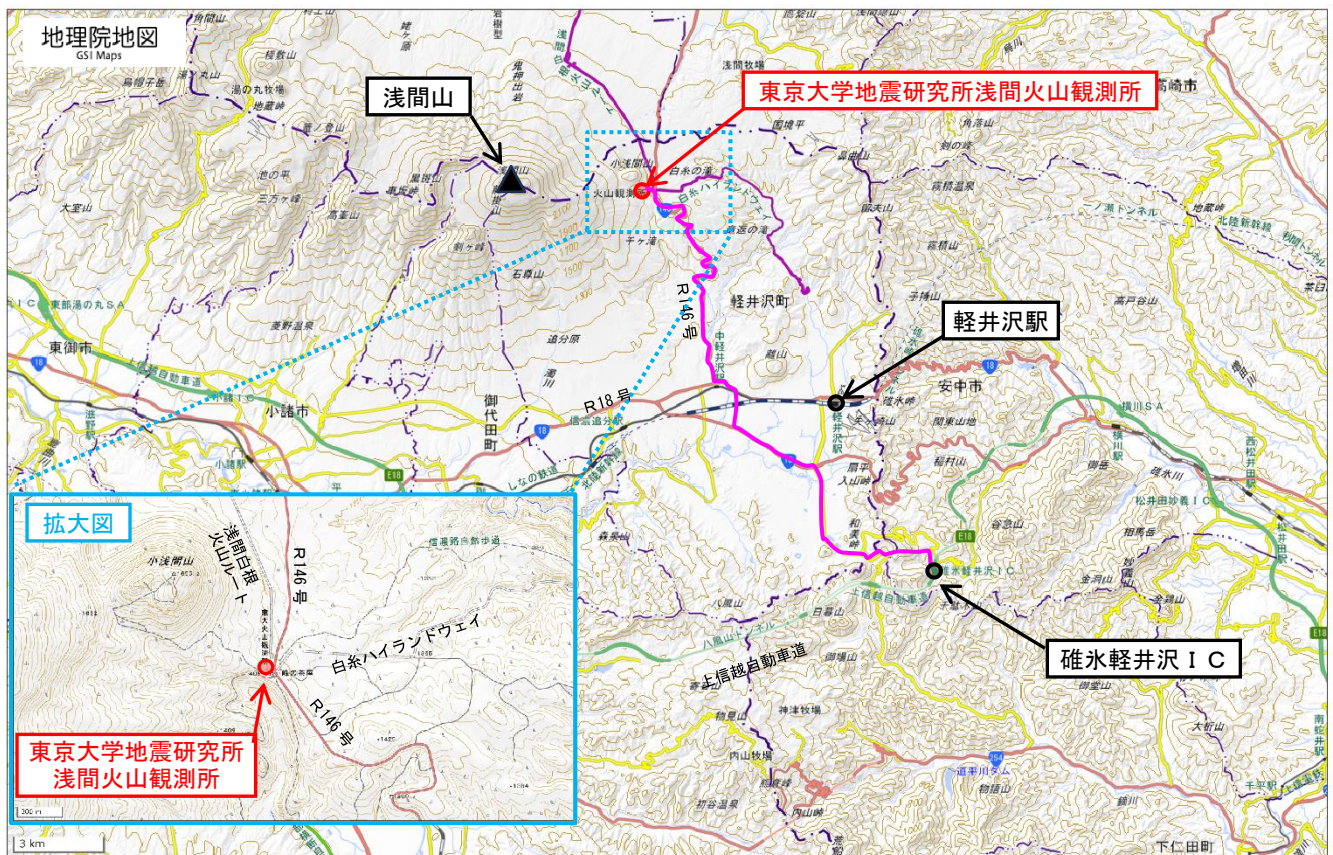
電話：0279-22-4177（代表） メールアドレス：ktr-tonesabo@mlit.go.jp

副所長（技術） 小島 （こじま）

調査課 地域防災調整官 須藤 （すどう）

< 東京大学地震研究所 浅間火山観測所 >

◆案内図



◆車でお越しの場合

- ・碓氷軽井沢インターより 35 分

◆公共交通機関でお越しの場合

- ・軽井沢駅北口より 草軽交通(株)バス 30 分 峰の茶屋下車

< タイムスケジュール予定 >

- ・ 13:00 降灰量把握実験開始 (場所: 東京大学地震研究所浅間火山観測所)
- ・ 14:00 実験終了予定

浅間山の噴火に備え降灰量把握試験
取材登録書

標記について、取材を希望される報道機関におかれましては、事前にご登録をお願いします。

◆宛先 利根川水系砂防事務所 調査課
◆mail ktr-tonesabo@mlit.go.jp (利根川水系砂防事務所メールアドレス)
◆期限 10月28日(月) 12:00まで

●報道機関名

●担当者氏名

●連絡先(電話)

●連絡先(メール)

※連絡先は、電話、メールの両方記載をお願い致します。